

輸出事業計画

※申請者名：よつ葉輸出促進協議会、品目：LL牛乳、チーズ

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- LL牛乳において、タイでは国民の所得向上や1992年に始まった学校牛乳プログラムの発足以降牛乳を飲む文化が定着し、販売量が増加。2020年度の販売量はコロナによる巣籠需要や日系量販店の新規出店の影響もあり前年を大きく上回っている。また、チルド流通が発達していない地域も多く、常温流通が可能なLL牛乳の需要が高いと考えられる。また、マレーシアでは北海道ブランドの人気が高まっており、今後、販売量の増加が見込まれる。
- チーズにおいて、台湾、シンガポールは年々増加傾向となっており、製菓製パンでのチーズの使用、また、スーパー等で販売されている直消用チーズの消費も増加傾向となっており、食の欧米化が徐々に進んでいると考えられる。

【課題】

- 各国での日本北海道産の牛乳乳製品の評価は高いが、認知度が低いため予定通り伸びていない。令和3年8月から令和5年3月までの期間で、東・東南アジア諸国を中心に牛乳乳製品の輸出促進のためのプロモーションを実施する。

2. 輸出事業計画の取組内容

【タイ】

- マネキン販売、ノベルティ作成、サンプリング、広告宣伝等のプロモーションを実施
- 現在の商流



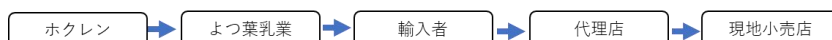
【マレーシア・台湾】

- マレーシア ～ SNSを活用した広告宣伝等のプロモーションを実施
- 台湾 ～ 製菓・製パンの講習会を実施
- 現在の商流

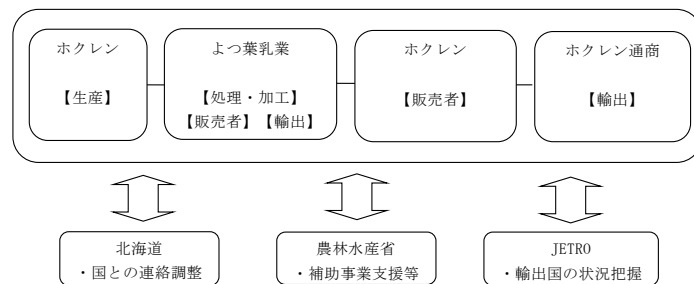


【シンガポール】

- サンプリング、SNSを活用した広告宣伝等のプロモーションを実施
- 現在の商流



3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

【輸出品目：LL牛乳】

項目	現状 (令和2年度)	目標年度 (令和5年度)
輸出額(円)	32,110,000	38,700,000
輸出量(t)	130	156
輸出先国	タイ・マレーシア	タイ、マレーシア

【輸出品目：チーズ】

項目	現状 (令和2年度)	目標年度 (令和5年度)
輸出額(円)	48,733,000	60,400,000
輸出量(t)	35	43
輸出先国	台湾、シンガポール	台湾、シンガポール